

2020年  
4月発行  
福津市  
うみがめ課

## 未来につなげたい自然環境と保全活動

福津市は、全国に自慢できる豊かな自然がたくさんあります。中でも「津屋崎干潟」には多様な生物が生息し、絶滅危惧種に指定されるものもあります。しかし、今、人の捨てたゴミが原因で生物の生息環境が危機にさらされています。市民団体「干潟みまもり隊」は、植物生育環境の整備やゴミ拾いを行い、豊かな干潟を未来に残す活動を行っています。

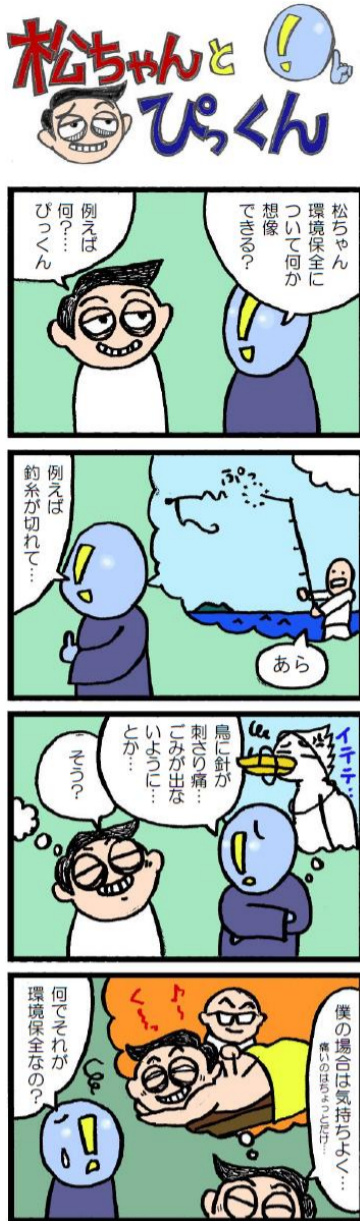
みなさんは津屋崎干潟に行つたことがありますか。津屋崎干潟は福津市の西部にある、渡半島に囲まれた内湾の奥に形成されています。大きな河川の流入がなく、全国的



▲冬に津屋崎干潟を訪れるクロツラヘラサギ

にも珍しい干潟です。

津屋崎干潟はたくさんのカニや魚、鳥などが集まる野生動物の宝庫です。絶滅危惧種も多く、生きた化石「カブトガニ」や、冬には渡り鳥のクロツラヘラサギが飛来し、バードウォッチングをする人で賑わいます。また、干潟沿岸には希少な植物も育ちます。夏には和製ハイビスカスとも呼ばれるハマボウが一斉に花を咲かせ、沿岸を黄色く染めます。背丈の小さなハママツナは、秋ごろに緑から鮮やかな赤に紅葉して人々を楽しませて



このように、干潟の自然は生物に生息の場を、人には癒しや安らぎを与えるなど、多くの恵みがある貴重

な環境であると言えます。こういった自然は福津市の財産であり、後世に残していかなければなりません。しかし現在、干潟には人の出したゴミが多く打ち上がり、生物の生息が困難になりつつあります。このままでは、干潟環境は悪化するでしょう。

### 綺麗な干潟を後世に残したい

Q: みまもり隊の活動内容はなんですか。  
A: 大きくは干潟沿岸の草刈りと漂流物・ゴミの撤去です。ハマボウの若木やハママツナの生育を阻害しないよう、アシやヨシなどを刈りま



▲活動について語る宮村さん(右)と松本さん(左)

Q: これからのどのように活動していきたいですか。  
A: これからも、貴重な干潟の環境保全活動を継続してやっていきます。公共施設や環境フォーラム等のイベントでも干潟やみまもり隊のことをPRしていくので、みなさんもぜひ干潟に足を運んでみて、そこにいる鳥や植物などを自分の目で見てみてください。きっと津屋崎干潟のことが好きになると思います。